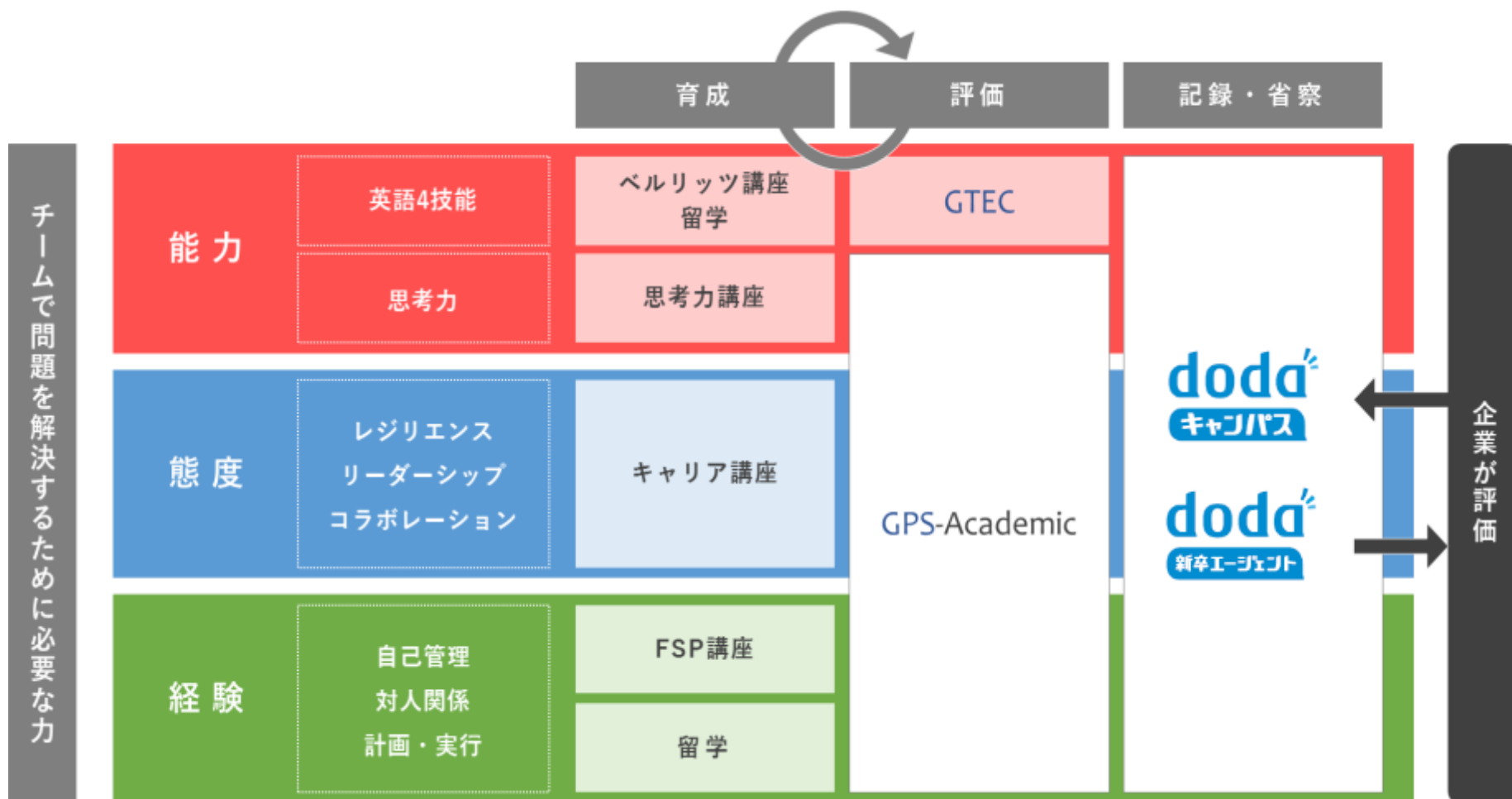


早稲田大学の皆様へ

大学生活における留学の活用方法

(株)ベネッセiキャリア
教育事業本部 大学営業部
矢竹秀行
2019年4月20日(土)

まなぶとはたらくをつなぐ





Benesse = bene (よく) + esse (生きる)

Benesseは、ラテン語の**bene** (良い、正しい) と**esse** (生きる) を一語にした造語です。前向きに人生を謳歌する、人間味豊かな生き方を象徴的に表現しました。

ベネッセでは、以下の5つの事業領域で、お客様のよく生きるを支援したいと考えています。

国内教育

海外教育

生活

シニア・介護

語学・
グローバル
人材教育

主なグローバル関連事業

「スコア型英語検定」**GTEC**
受験者数 年間約**100万人以上**

文部科学省事業の受託
「全国学力調査」・「英語力検証事業」

高校・大学「海外留学支援」
年間**1000名以上**

海外VYリーグ進学支援
ルートHによる**ハーバード等の合格支援**

高校・大学「ベルリッツ英語講座」
年間約**100校・200万レッスン**

大学の**国際系学部新設・全員留学等**
のご支援 近畿大学国際学部等

北海道出身

2007年3月 立命館大学社会学研究科修了

2007年4月～ ベネッセコーポレーション入社 高校事業部 東北支社 岩手担当
高校を訪問する学校営業として岩手県を担当
東北地区大学入試分析を担当

2010年4月～ 高校事業部 大阪支社 大阪私学担当
6年制私立、大学附属私立など都市部私立校を担当
関西地区大学入試分析を担当

2013年4月～ 高校事業部 グローバルサービス開発課として本部担当
中高生の海外進学をサポート、在学中の短期留学の開発提供。
小学生プログラムの開発。大学のグローバル化を支援。
3年間グローバル小中高大のグローバル領域の開発ならびに支援

2016年10月～ ベネッセi-キャリア 教育事業本部 大学営業部 東日本営業
グローバル事業担当として全国の新設学部に関するご相談等のご支援

地方公立高校から都市部私立高校までの高校担当として6年間入試サポートの仕事をしたのち、海外進学などのグローバル領域に特化した個人向け支援と学校向け支援を実施。

就職活動の変化

新卒一括採用から採用の多様化

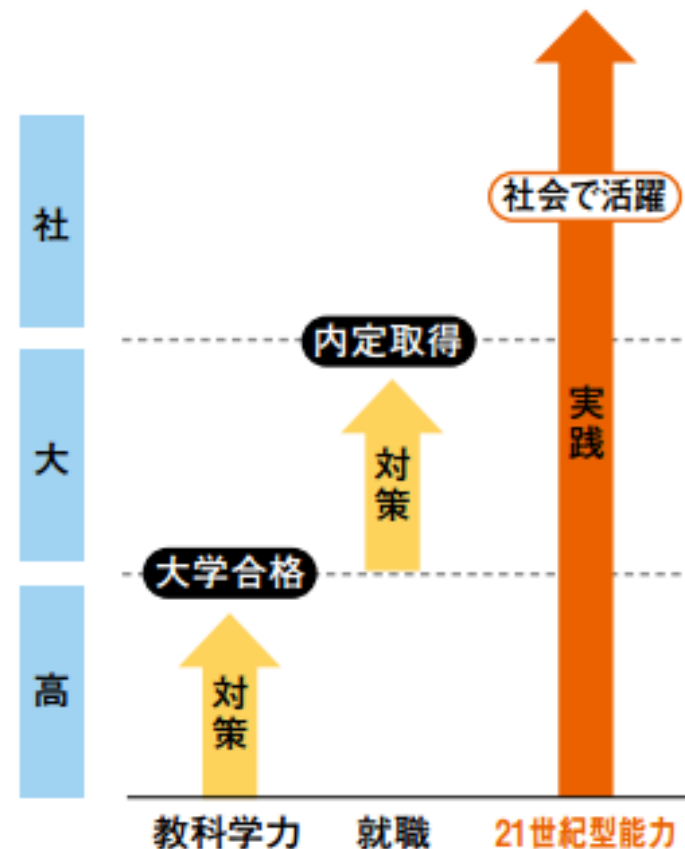
大学の変化

成長幅の提示
4年間の学習成果の提示

大学入試の変化

一発入試から積み上げ型入試へ

高校指導の変化

新教育課程が始まります
英語・デジタルの勉強が当たり前に「対策」的な学びから
「ゴールのない」学びへ【図表1】

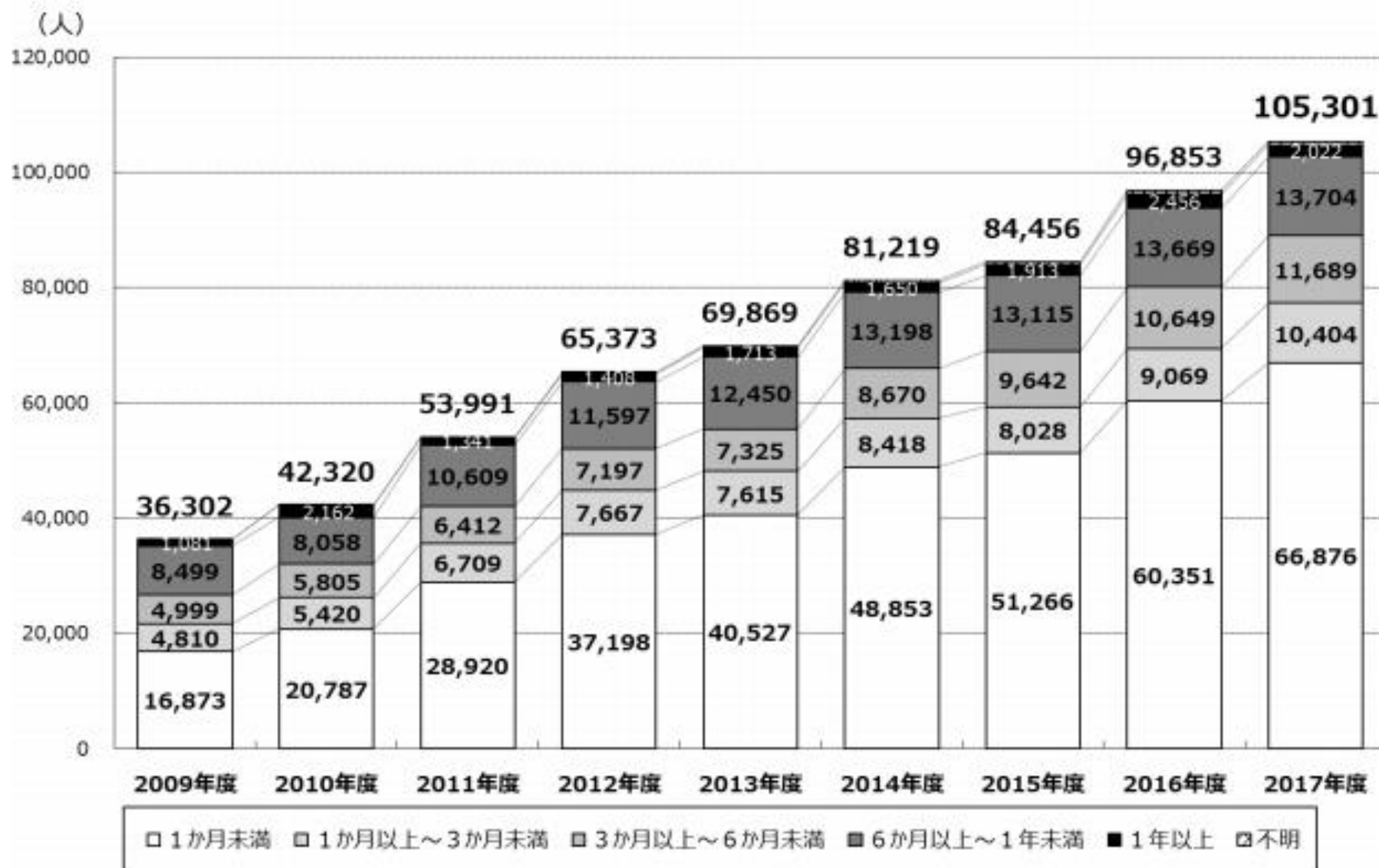
高校・大学・社会の変化から点から線の接続がスタート

出典：ベネッセアイキャリア実施 帰国後ワークショップ事前アンケート

～就活で留学経験を活かせず不安を感じている～

- ・留学についてどのくらいアピールするべきかわからない。
- ・留学なんて皆がしているからなんのPRにもならない。
- ・留年経験が就活にどれほどプラスの効果があるか
- ・自分の留学経験が就職活動につながるのか分らない
- ・みんながインターンシップをしていることを知りとても不安

* 文部科学省発表、日本人の海外留学者数2019年1月18日



- **自分を取り巻く環境を高大社の視点で考える**
- **留学経験者のつまずき**
- **留学プログラムの選び方**
- **留学経験を効果的にする為に**

「留学の選び方」
「留学経験を大学生生活に活かす」
「客観化、言語化、蓄積化する」

【キーワード】
接続と積み上げ

	農業革命	第一次産業革命	第二次産業革命	第三次産業革命	第四次産業革命
時代	約1万年前	18世紀後半	19世紀後半	20世紀後半	現在
変革テーマ	狩猟生活から農耕生活へ。 動物の家畜が可能になり、家畜と人間の力が結びつき、農業に変革した。	蒸気・石炭を動力源とする軽工業中心の経済発展および社会構造の変革。 イギリスで蒸気機関が発明され、工場制機械工業が幕開けとなった。	電気・石油を新たな動力源とする重工業中心の経済発展および社会構造の変革。 エジソンが電球などを発明したことや物流網の発展などが相まって、大量生産、大量輸送、大量消費の時代が到来。	コンピューターなどの電子技術やロボット技術を活用したマイクロエレクトロニクス革命により、自動化が促進された。 日本メーカーのエレクトロニクス製品や自動車産業の発展などが象徴的である。	デジタル技術の進展と、あらゆるモノがインターネットにつながるIoT（Internet of Things）の発展。 新たな経済発展や社会構造の変革を誘発される。 データ資本主義社会
競争の源泉	土地・人口	蒸気・石炭	電気・石油	インターネット（自動化）	AI・ビッグデータ（自律化）
社会	狩猟社会→農耕社会	農耕社会→工業社会	工業社会	工業社会→情報社会	超スマート社会（Society5.0）
地域	中央アジア	イギリス	アメリカ	日本→アメリカ	アメリカ・中国

2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)【概要】

平成30年11月26日
中央教育審議会

I. 2040年の展望と高等教育が目指すべき姿 … 学修者本位の教育への転換 …

2040年頃の社会変化
国連・SDGs「全ての人が平和と豊かさを楽しめる社会」
Society5.0 第4次産業革命 人生100年時代 グローバル化 地方創生

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

● 必要とされる人材像と高等教育が目指すべき姿

予測不可能な時代
を生きる人材像

- 普遍的な知識・理解と汎用的技能を文理横断的に身に付けていく
- 時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力を持って社会を改善していく資質を有する人材

学修者本位の
教育への転換

- 「何を学び、身に付けることができたのか」+ 個人々の学修成果の可視化(個々の教員の教育手法や研究を中心にシステムを構築する教育からの脱却)
- 学修者が生涯学び続けられるための多様で柔軟な仕組みと流動性

● 高等教育と社会の関係

「知識の共通基盤」

- 教育と研究を通じて、新たな社会・経済システムを提案、成果を還元

研究力の強化

- 多様で卓越した「知」はイノベーションの創出や科学技術の発展にも寄与

産業界との協力・連携

- 雇用の在り方や働き方改革と高等教育が提供する学びのマッチング

地域への貢献

- 「個人の価値観を尊重する生活環境を提供できる社会」に貢献

II. 教育研究体制 … 多様性と柔軟性の確保 …

多様な学生

- 18歳で入学する日本人を主な対象として想定する従来のモデルから脱却し、社会人や留学生を積極的に受け入れる体質転換
- リカレント教育、留学生交流の推進、高等教育の国際展開

多様な教員

- 実務家、若手、女性、外国籍などの様々な人材を登用できる仕組みの在り方の検討
- 教員が不断に多様な教育研究活動を行うための仕組みや環境整備(研修、業績評価等)

多様で柔軟な教育プログラム

- 文理横断・学修の幅を広げる教育、時代の変化に応じた迅速かつ柔軟なプログラム編成
- 学位プログラムを中心とした大学制度、複数の大学等の人的・物的資源の共有、ICTを活用した教育の促進

多様性を受け止める柔軟なガバナンス等

- 各大学のマネジメント機能や経営力を強化し、大学等の連携・統合を円滑に進められる仕組みの検討
- 国立大学の一法人複数大学制の導入、経営改善に向けた指導強化・撤退を含む早期の経営判断を促す指導、国公立の枠組みを越えて、各大学の「強み」を活かした連携を可能とする「大学等連携推進法人(仮称)」制度の導入、学外理事の登用

大学の多様な「強み」の強化

- 人材養成の観点から各機関の「強み」や「特色」をより明確化し、更に伸長

III. 教育の質の保証と情報公表 … 「学び」の質保証の再構築 …

● 全学的な教学マネジメントの確立

- 各大学の教学面での改善・改革に資する取組に係る指針の作成

● 学修成果の可視化と情報公表の促進

- 単位や学位の取得状況、学生の成長実感・満足度、学修に対する意欲等の情報
- ・ 教育成果や大学教育の質に関する情報の把握・公表の義務付け
- 全国的な学生調査や大学調査により整理・比較・一貫化

● 設置基準の見直し

(定員管理、教育手法、施設設備等について、時代の変化や情報技術、教育研究の進展等を踏まえた根本的な見直し)

● 認証評価制度の充実

(法令違反等に対する厳格な対応)

教育の質保証システムの確立

IV. 18歳人口の減少を踏まえた高等教育機関の規模や地域配置 … あらゆる世代が学ぶ「知の基盤」…

高等教育機関への進学者数とそれを踏まえた規模

- 将来の社会変化を見据えて、社会人、留学生を含めた「多様な価値観が集まるキャンパス」の実現
- 学生の可能性を伸ばす教育改革のための適正な規模を検討し、教育の質を保証できない機関へ厳しい評価

【参考】2040年の推計

- ・ 18歳人口: 120万人(2017) → 88万人(現在の74%の規模)
- ・ 大学進学者数: 63万人(2017) → 51万人(現在の80%の規模)

地域における高等教育

- 複数の高等教育機関と地方公共団体、産業界が各地域における将来像の議論や具体的な連携・交流等の方策について議論する体制として「地域連携プラットフォーム(仮称)」を構築

国公私の役割

- 歴史的経緯と、再整理された役割を踏まえ、地域における高等教育の在り方を再構築し、高等教育の発展に国公私全体で取り組む
- 国立大学の果たす役割と必要な分野・規模に関する一定の方向性を検討



V. 各高等教育機関の役割等 … 多様な機関による多様な教育の提供 …

- 各学校種(大学、専門職大学・専門職短期大学、短期大学、高等専門学校、専門学校、大学院)における特有の課題の検討
- 転入学や編入学などの各高等教育機関の間の接続を含めた流動性を高め、より多様なキャリアパスを実現

VI. 高等教育を支える投資 … コストの可視化とあらゆるセクターからの支援の拡充 …

- 国力の源である高等教育には、引き続き、公的支援の充実が必要
- 社会のあらゆるセクターが経済的效果を含めた効果を楽しむことを踏まえた民間からの投資や社会からの寄附等の支援も重要(財源の多様化)

- 教育・研究コストの可視化
- 高等教育全体の社会的・経済的效果を社会へ提示

- 公的支援も含めた社会の負担への理解を促進
- 必要な投資を得られる機運の醸成

(①貧困)

1 貧困をなくそう



(②飢餓)

2 飢餓をゼロに



(③保健)

3 すべての人に健康と福祉を



(④教育)

4 質の高い教育をみんなに



(⑤ジェンダー)

5 ジェンダー平等を実現しよう



(⑥水・衛生)

6 安全な水とトイレを世界中に



(⑦エネルギー)

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



(⑧成長・雇用)

8 働きがいも経済成長も



(⑨イノベーション)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



(⑩不平等)

10 人や国の不平等をなくそう



(⑪都市)

11 住み続けられるまちづくりを



(⑫生産・消費)

12 つくる責任 つかう責任



(⑬気候変動)

13 気候変動に具体的な対策を



(⑭海洋資源)

14 海の豊かさを守ろう



(⑮陸上資源)

15 陸の豊かさも守ろう



(⑯平和)

16 平和と公正をすべての人に



(⑰実施手段)

17 パートナーシップで目標を達成しよう



ロゴ: 国連広報センター作成

- ◇日本は、健康寿命が世界一の長寿社会を迎えている。海外の研究（リンダ・グラットンの著書「ライフシフト」で引用されている研究）を元にすれば、2007年に日本で生まれた子供については、107歳まで生きる確率が50%もある。この日本で、超長寿社会の新しいロールモデルを構築する取組を始めていきたい。
- ◇こうした超長寿社会において、人々がどのように活力をもって時代を生き抜いていくか、そのための経済・社会システムはどうあるべきなのか。それこそが、「人づくり革命」の根底にある大きなテーマ。
- ◇こうした社会システムを実現するため、政府が今後4年間に実行していく政策のグランドデザインを検討する新たな構想会議がこの「人生100年時代構想会議」。

人生100年時代構想会議の具体的なテーマ

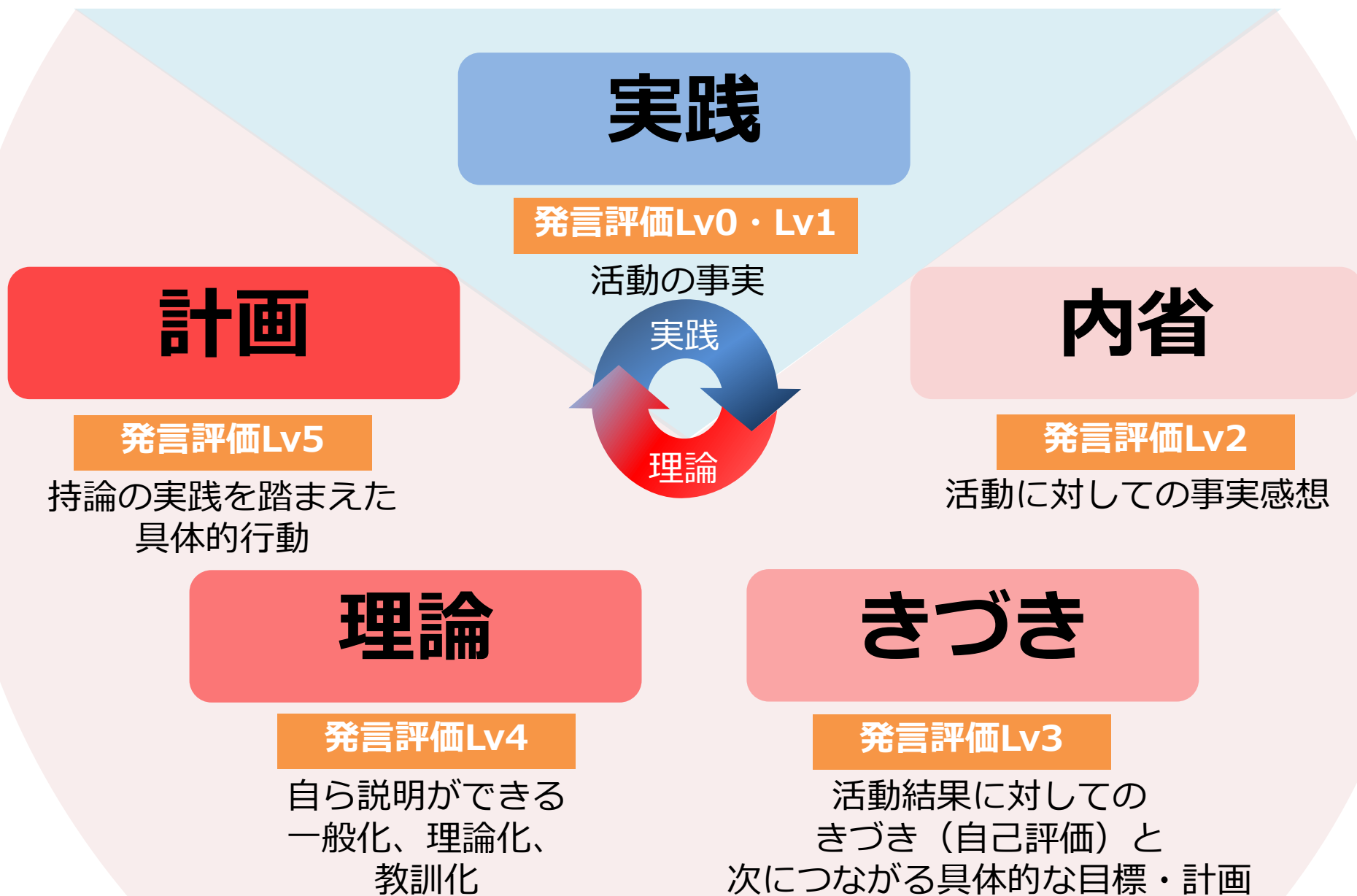
- ①全ての人に開かれた教育機会の確保、負担軽減、無償化、そして、何歳になっても学び直しができるリカレント教育
- ②これらの課題に対応した高等教育改革※
※大学にしても、これまでの若い学生を対象にした一般教養の提供では、社会のニーズに応えられないのではないか。
- ③新卒一括採用だけでない企業の人材採用の多元化※、そして多様な形の高齢者雇用
※これが有能な人材確保のカギであり、企業にしてもこれまでの新卒一括採用だけではやっていけない。
- ④これまでの若年者・学生、成人・勤労者、退職した高齢者という3つのステージを前提に、高齢者向け給付が中心となっている社会保障制度を全世代型社会保障へ改革していく。

- ◇年内に中間報告をとりまとめ、政策パッケージも盛り込んだ基本構想を、来年前半には打ち出す。

「人生100年時代の社会人基礎力」の「気づき」の設定

個々人がキャリアオーナーシップにもとづき、自らが持つ・持たざる能力や体験をリフレクション（振り返り）するため、ライフステージの各段階で意識することが求められる“問い”を示すことが有用。

	就学前教育 幼稚園教育要領 保育所保育指針	初等中等教育 学習指導要領	高等教育 大学設置基準等	教育と社会との関係の接続 (これまでの重点)	新人 社会人 社会人基礎力 (2006)	中堅 社会人	中高年 社会人
何を 学ぶか 【学び】	・学びに向かう力が ついているか	・主体的に自己を 発揮しながら学 びに向かう態度 はついているか	・どんな専門分野 を修めて社会で 活躍するための 礎とするか		・自らが付加価値 を生み出すため の学びはなにか ・学びの広さや深 さを得られるか	・強みを伸ばし、 弱みを克服する 学びはなにか ・社会や技術の 変化に対応す るための学びは なにか	・持続的に活躍し 続けるために必要 な学びはなにか ・経験等を引き継 ぐための学びはな にか
どのように 学ぶか 【組合せ】	・大人との触れ合 いは十分か ・他者との関わりは 十分か	・学校種間の連携 や交流は十分か ・共に尊重し合い ながら協働して 生活していく態度 はついているか	・年代、地域、文 化などを超えた多 様な人と関わって いるか		・多様な人と出会 い、視野を広く 持ち、多様な機 会を得ているか	・多様な人との関 係性を構築し、 価値の創出に 向けて組み合わ せているか	・多様な人との関 係性を活用し、 活躍の場や活動 の領域をこれまで より広げているか
どう 活躍するか 【目的】	・よりよい生活を営 もうとしているか	・自分のよさや可 能性を認識して いるか	・得手不得手を踏 まえて、企業・社 会とどのように関 わりたいか		・組織や家庭との 関係でどんな自 分でありたいか	・自己実現するた めにどのような行 動が必要か	・これまでの経験を 踏まえ自らが社 会に提供できる 価値はなにか
3つの能力 12の能力要素	リフレクション（振り返り） ・主体的・対話的で深い学び ・キャリア教育の充実				リフレクション（振り返り） ・多様な経験の積み重ね ・リフレクションと多様なフィードバックの積み重ね		
教育や体験活動を通じた育成／育成の支援				仕事や地域での実践を通じた深化／研鑽環境の整備			



2年間で24個の経験登録

1年3月の経験登録

2年3月の経験登録

1年2月の経験登録

2年2月の経験登録

1年1月の経験登録

2年1月の経験登録

1年12月の経験登録

2年12月の経験登録

1年11月の経験登録

2年11月の経験登録

1年10月の経験登録

2年10月の経験登録

1年9月の経験登録

2年9月の経験登録

1年8月の経験登録

2年8月の経験登録

1年7月の経験登録

2年7月の経験登録

1年6月の経験登録

2年6月の経験登録

1年5月の経験登録

2年5月の経験登録

1年4月の経験登録

2年4月の経験登録

2年間で7個の経験登録

1年3月の経験登録

2年3月の経験登録

2年2月の経験登録

2年1月の経験登録

1年12月の経験登録

1年9月の経験登録

1年4月の経験登録



大学名・能力等全く関係なく上記内容だけを見た場合どちらが魅力的か

倫理憲章および指針上では「後ろ倒し・短期化」の流れ
ただし、低学年時でのキャリア教育やインターンシップなども一般化

(年度)	3年						4年							
	10/1	11/1	12/1	1/1	2/1	3/1	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1	
1997～2002														内定
2003							選考活動							
2004							選考活動							
2005	広報活動						選考活動							
2006	広報活動						選考活動							
2007	広報活動						選考活動							
2008	広報活動						選考活動							
2009	広報活動						選考活動							
2010	広報活動						選考活動							
2011	広報活動						選考活動							
2012			広報活動				選考活動							
2013			広報活動				選考活動							
2014			広報活動				選考活動							
2015						広報活動					選考活動			
2016						広報活動				選考活動				
2017						広報活動				選考活動				
2018						広報活動				選考活動				

内定

I. 企業の新卒採用の現状と今後に向けた課題整理

1. 新卒採用時の企業の対応の状況

(1) 募集・選考の現状

<文系>

- ジェネラリスト採用
- ポテンシャル採用
(入社後は、ジョブローテーションで育成される)
- 入社後の職務内容・キャリアパスは先輩社員の事例を通じて紹介

<理系・技術系>

- 「マッチング方式」等
- 選考に際しては、専門分野の履修科目や成績を評価しつつ、研究に取り組む姿勢や方法、独自の問題意識などを重視
- 入社後の職務内容・フィールドを募集時に提示

<専門職種>

- (研究開発、アクチュアリー、クォンツ、高度IT人材、戦略財務会計、法務、経理等の専門人材)
- 求める専門能力、スキル、入社後のキャリアパス等を明示

(2) 学生に求める資質・能力

社会人の資質

創造性、チャレンジ精神、行動力、責任感、論理的思考能力、コミュニケーション能力、忍耐力、協調性 等

学生に求める知識・能力

- ・ リベラルアーツ
- ・ 語学(英語)力 / 情報リテラシー

その他

- ・ 地球規模課題や世界情勢への関心
- ・ 学外活動や社会経験を評価

I. 企業の新卒採用の現状と今後に向けた課題整理

2. 今後、検討が必要な課題

(1) 新卒採用のあり方

新卒採用のあり方が大きく変わろうとしています

Society 5.0 時代に適合した人材活用、評価・処遇のあり方を考える中で、様々な採用・選考機会を提供し、多様な人材を獲得することが必要

- 採用時期や対象者の多様化：新卒一括採用のほか、卒業時期の異なる学生や未就職卒業者、留学経験者、外国人留学生などを対象に、夏季・秋季の採用・入社にも柔軟に対応
- 今後、専門的な知識・技能や職務経験を有する高度な人材の採用にあたっては、ジョブ型雇用の仕組みを構築する中で、多様な選択肢を設ける（新卒・既卒、文系・理系の垣根を設けない通年採用・通年入社等）

(2) 企業が求める人材像の共有のあり方

- キャリア教育等の実施に向けた大学との協力
- 1年次や2年次など早い段階における長期インターンシップに取り組む企業の拡大
- ジェネラリストとしての「就社」ではなく「就職」を念頭においた専門知識の修得と、企業における適切な評価・活用

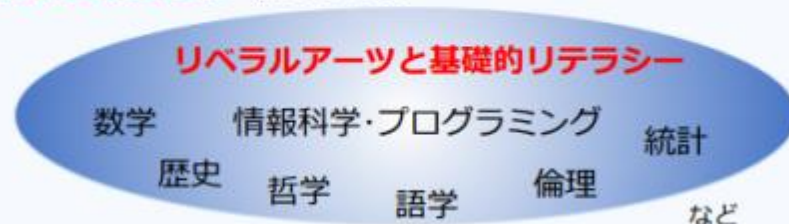
(3) 大学と企業との継続的対話

- 企業は経済社会の課題や技術革新の状況、求める人材像などについて、大学側に継続的に発信し、大学と対話の仕組みを構築することが必要
- インターンシップの今後のあるべき姿も検討課題として取り上げる

Ⅱ. 大学に期待する教育改革

1. 文系・理系の枠を越えた基礎的リテラシー教育

すべての学生に、**リベラルアーツと基礎的リテラシー**、文章・情報の正確な読解力、外部への的確な表現力・論理的な説明力が求められる



近い将来、
文理融合をさらに進め、
学部のある方、
カリキュラムのあり方など、
根本的な見直しを

2. 大学教育の質保証

高大接続の円滑化のさらなる推進を前提として、

- **単位取得要件や成績・卒業要件の厳格な運用**
- **授業方法の改革**

- ① 少人数のゼミナール形式で、ディスカッションを通じて主体的に学ぶ教育
- ② PBL (Project Based Learning) 型の授業
- ③ 実務家教員による産学連携の授業

- **成績評価方法の改革**

学生がどれだけ主体的に学び、深く考え抜いたかのプロセスや知的作業の結果を評価

3. グローバル化のさらなる進展

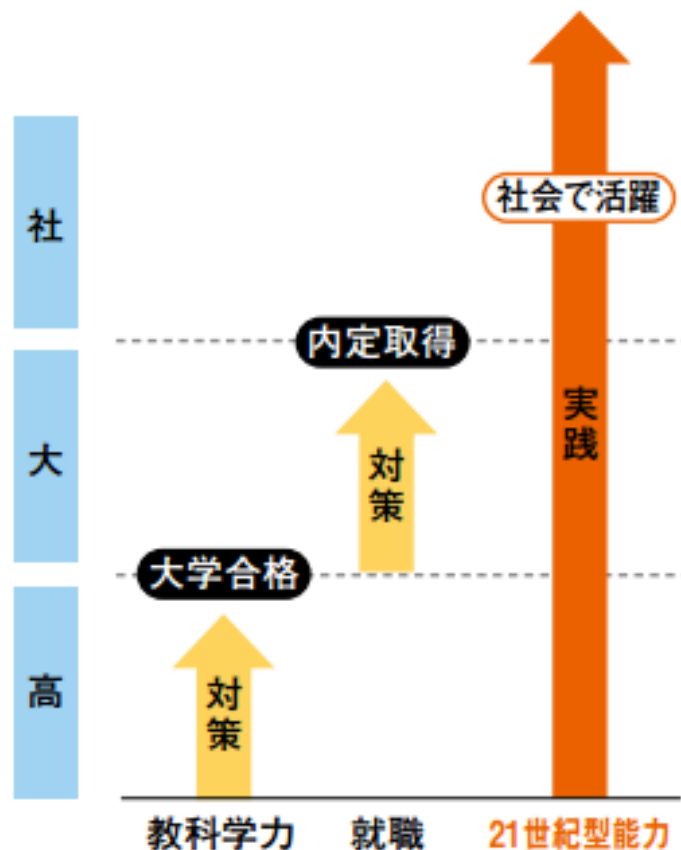
- 早期から**学生への異文化体験を促進**

- ・ 学生の海外留学、ギャップイヤー取得の奨励
- ・ 海外からの留学生受け入れ拡大
- ・ 海外大学との教育連携のさらなる推進
(ダブルディグリーやジョイントディグリー)
- ・ 海外大学との整合性のある学事暦の導入 など

- **外国人留学生の日本企業への就職支援**

- ・ 在留資格変更手続きの簡素化・迅速化
- ・ 就職に必要なスキルに関する研修や情報提供
- ・ インターンシップ機会の拡充 など

「対策」的な学びから
「ゴールのない」学びへ 【図表1】



留学前から帰国後でどれくらい伸びたか

成長幅の
提示

語学力

汎用的能力

成長幅をどのように数値で示せるか

18・19年度新卒就活経験者

留学の経験は就職活動のプロセス(企業選び、選考等)において良い影響を与えたと思いますか

人; n=423

とても
影響した

53%

まあまあ
影響した

36%

あまり影響
しなかった

7%

まったく影響
しなかった

4%

※無回答:60名

良い影響として、留学で得た
どのようなことが就職活動中に評価されたと思いますか

人; n=373; 複数回答

何事にも挑戦するチャレンジ精神

広い視野で物事を捉える力

就職活動に有利になる経験

対人コミュニケーション能力

89%

語学(英語)の習得

自分の意見を持ちはっきり伝える力

日本国外で生活する力

人間力

国内外の友人ネットワーク

海外駐在に活かせる経験

リーダーシップ

海外での就職に活かせる経験

海外での進学に活かせる経験

語学(英語・中国語以外)の習得

出世で有利になる経験

語学(中国語)の習得

その他

※無回答4名

平成	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
西暦	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
入口変化			JEP対応 入学学年	オリンピック	新入試 入学学年			
出口変化	就活 6月解禁	就活 6月解禁	就活 6月解禁					
2014年度入学	4年生							
2015年度入学	3年生	4年生						
2016年度入学	2年生	3年生	4年生					
2017年度入学	1年生	2年生	3年生	4年生				
2018年度入学	高3生	1年生	2年生	3年生	4年生			
2019年度入学	高2生	高3生	1年生	2年生	3年生	4年生		
2020年度入学	高1生	高2生	高3生	1年生	2年生	3年生	4年生	
2021年度入学		高1生	高2生	高3生	1年生	2年生	3年生	4年生

<現 行>

【平成32年度～】

共通テスト

択一式問題のみ

記述式問題
の導入

- センターが作問、出題、採点する。採点には「民間事業者」を活用。
- 国語：80～120字程度の問題を含め3問程度。
数学：数式・問題解決の方略などを問う問題3問程度。
- 平成36年度から地歴・公民分野や理科分野等でも記述式を導入する方向で検討。

英語「読む」「聞く」
のみ4技能評価
へ転換

- 英語の外部検定試験を活用し、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を評価。
- センターが、試験の内容と実施体制を評価し、入学者選抜に適した試験を認定。各大学の判断で活用（高3時の2回まで）。
- 共通テストの英語試験は、認定試験の実施・活用状況等を検証しつつ、平成35年度までは継続して実施。
- 各試験団体に、検定料の負担軽減方策を講じることを求めるとともに、各大学に、受検者の負担に配慮して、できるだけ多くの種類の認定試験の活用を求める。

個別選抜

学力の3要素が評価
できていない入試
早期合格による高校
生の学習意欲低下新たなルール
の設定

- AO入試・推薦入試において、小論文、プレゼンテーション、教科・科目に係るテスト、共通テスト等のうち、いずれかの活用を必須化。
- 調査書の記載内容も改善。
- 出願時期をAO入試は8月以降から9月以降に変更。
合格発表時期をAO入試は11月以降、推薦入試は12月以降に設定（これまでルールなし）。

地区	参加大学数	国立大	公立大	公立短大	私立大	私立短大
北海道・東北	9校	0校	1校	0校	6校	2校
関東・甲信越	38校	4校	2校	0校	30校	2校
東海・北陸	7校	1校	0校	0校	6校	0校
近畿	19校	2校	0校	0校	16校	1校
中国・四国	8校	2校	2校	1校	3校	0校
九州・沖縄	10校	6校	0校	0校	4校	0校
合計	91校	15校	5校	1校	65校	5校

九州・沖縄地区

- 国立大** 九州工業大学（福岡）
佐賀大学（佐賀）
長崎大学（長崎）
大分大学（大分）
宮崎大学（宮崎）
琉球大学（沖縄）
- 私立大** 九州共立大学（福岡）
筑紫女学園大学（福岡）
福岡工業大学（福岡）
立命館アジア太平洋大学（大分）

中国・四国地区

- 国立大** 島根大学（島根）
岡山大学（岡山）
- 公立大** 島根県立大学（島根）
岡山県立大学（岡山）
- 公立短大** 島根県立大学短期大学部（島根）
- 私立大** ノートルダム清心女子大学（岡山）
広島工業大学（広島）
広島文教女子大学（広島）

近畿地区

- 国立大** 大阪大学（大阪）
大阪教育大学（大阪）

- 私立大** 京都先端科学大学（現・京都学園大学）（京都）
同志社大学（京都）
立命館大学（京都）
龍谷大学（京都）
追手門学院大学（大阪）
- 私立短大** 神戸女子短期大学（兵庫）

- 私立大** 大阪医科大学（大阪）
関西大学（大阪）
関西医療大学（大阪）
関西国際大学（兵庫）
関西学院大学（兵庫）
甲南大学（兵庫）
- 私立大** 甲南女子大学（兵庫）
神戸海星女子学院大学（兵庫）
神戸女子大学（兵庫）
兵庫医療大学（兵庫）
天理大学（奈良）

関東・甲信越地区

- 国立大** 群馬大学（群馬）
東京医科歯科大学（東京）
東京外国語大学（東京）
東京農工大学（東京）
- 公立大** 首都大学東京（東京）
横浜市立大学（神奈川）
- 私立大** 群馬バース大学（群馬）
城西大学（埼玉）
千葉商科大学（千葉）
麗澤大学（千葉）
青山学院大学（東京）
桜美林大学（東京）
大妻女子大学（東京）
國學院大学（東京）
駒澤大学（東京）
昭和女子大学（東京）
昭和薬科大学（東京）
上智大学（東京）
創価大学（東京）
中央大学（東京）
東京経済大学（東京）
- 私立大** 東京工芸大学（東京）
東京理科大学（東京）
東洋大学（東京）
日本女子体育大学（東京）
法政大学（東京）
武蔵大学（東京）
武蔵野大学（東京）
明治大学（東京）
立教大学（東京）
立正大学（東京）
和光大学（東京）
早稲田大学（東京）
神奈川大学（神奈川）
関東学院大学（神奈川）
東洋英和女学院大学（神奈川）
- 私立短大** 城西短期大学（埼玉）
大妻女子大学短期大学部（東京）

北海道・東北地区

- 公立大** 国際教養大学（秋田）
- 私立大** 札幌大学（北海道）
札幌学院大学（北海道）
北星学園大学（北海道）
北海学園大学（北海道）
北海道科学大学（北海道）
いわき明星大学（福島）
- 私立短大** 札幌大学女子短期大学部（北海道）
北星学園大学短期大学部（北海道）

東海・北陸地区

- 国立大** 金沢大学（石川）
- 私立大** 朝日大学（岐阜）
岐阜聖徳学園大学（岐阜）
中京大学（愛知）
南山大学（愛知）
日本福祉大学（愛知）
皇學館大学（三重）

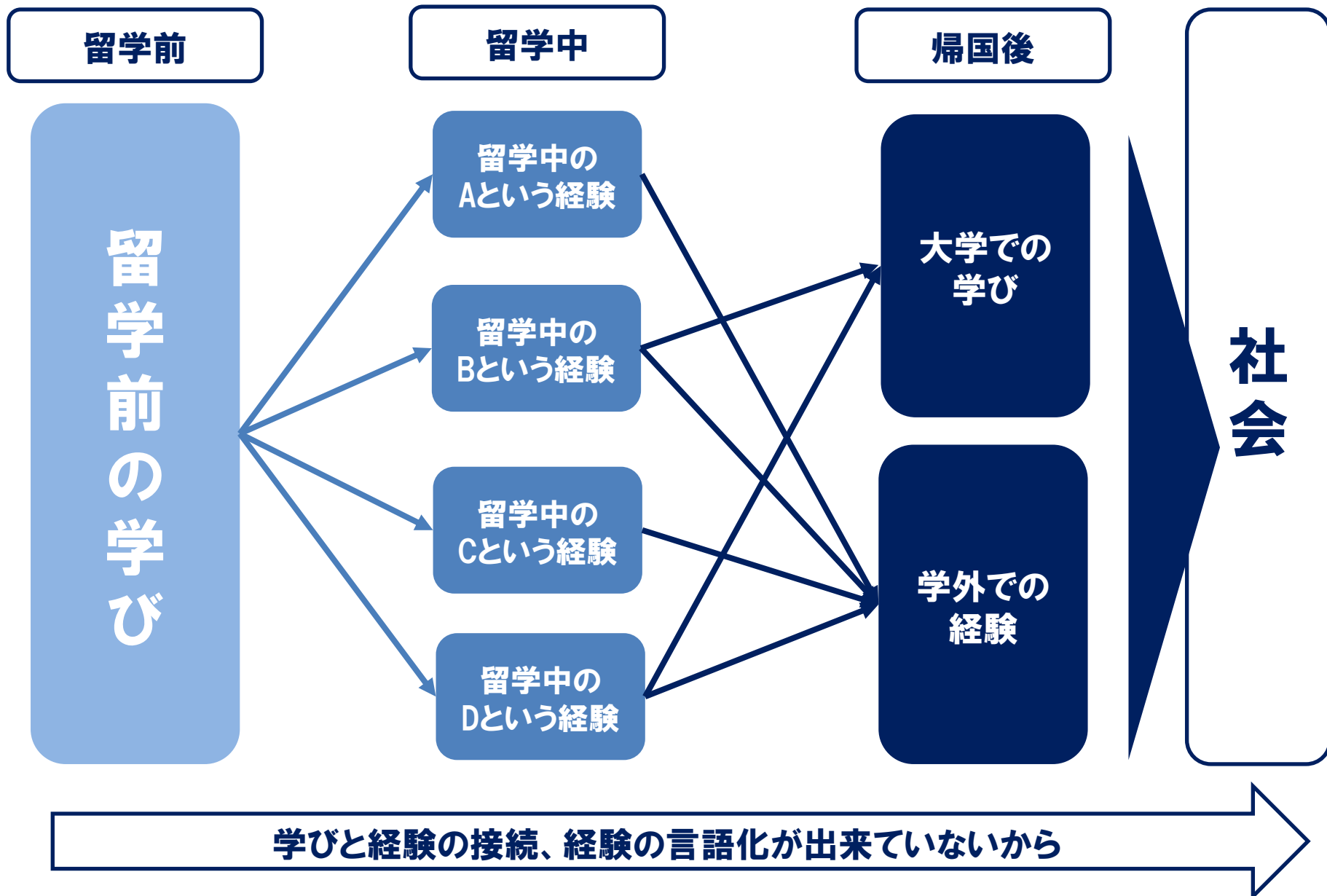
※上記は平成30年6月8日までに申込みがあった大学です。※参画大学一覧は、申込みを受け随時更新を致します。※都道府県は、本部様のあるキャンパスで記載しています。※同一設置形態、本部様のあるキャンパスが同一都道府県の場合、大学名の50音順で記載しています。

⚠ 平成31年度入学試験において活用する大学、学部学科等、及び入試制度名や活用方法（入学者選抜に係るデータとして活用、参考・参照として活用、統計データとして活用）については、「平成31年度入学試験において活用する大学・入試制度一覧」をご参照ください。

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200 (230) (210)			9.0 8.5				
C1	199 180 (190)	3299 2600 (3299)	1400 1350 (1400)	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160 (170)	2599 2300 (2599)	1349 1190 (1280)	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140 (150)	2299 1950 (2299)	1189 960 (1080)	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120 (120)	1949 1700 (1949)	959 690 (840)		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100 (100)	1699 1400 (1699)	689 270 (270)					620 320

～留学を成功させる為のポイント3点～

- 留学前から帰国後までの体系化
- スケジュールの明確化・逆算化
- 国内での活動との差別化、蓄積化





通常の学生

保険やビザは大学の人が、
教えてくれるから
大丈夫だろう

留学先でついていけるか...
大丈夫かな...

トラブルがあった時は、
誰かが何とかしてくれる

自分の身の回りに起こって
いることに目がいきがち

英語力を高めることで
精いっぱい

異文化の知識が得られた

異文化対応力が上がった

英語力が上がった

コミュニケーション能力が
上がった

目指す状態

①留学先の地域や文化に
関する理解深化

②留學生活に対する
期待値を適度な状態にする

③トラブルの際の課題
解決方法、姿勢の習得

④又ケモレない渡航手続き

⑤留学後を見据えた学びの
姿勢習得

⑥留學生活を支えあう
仲間とのチームビルディング

⑦英語力向上だけではなく、
自分が意識すべきことが
わかり行動できる

⑧日々自分が成長している
ことが可視化できる状態を創る

⑨仲間と共に切磋琢磨しながら
学ぶことができる

⑩トラブルの際に的確な行動を
とることができる

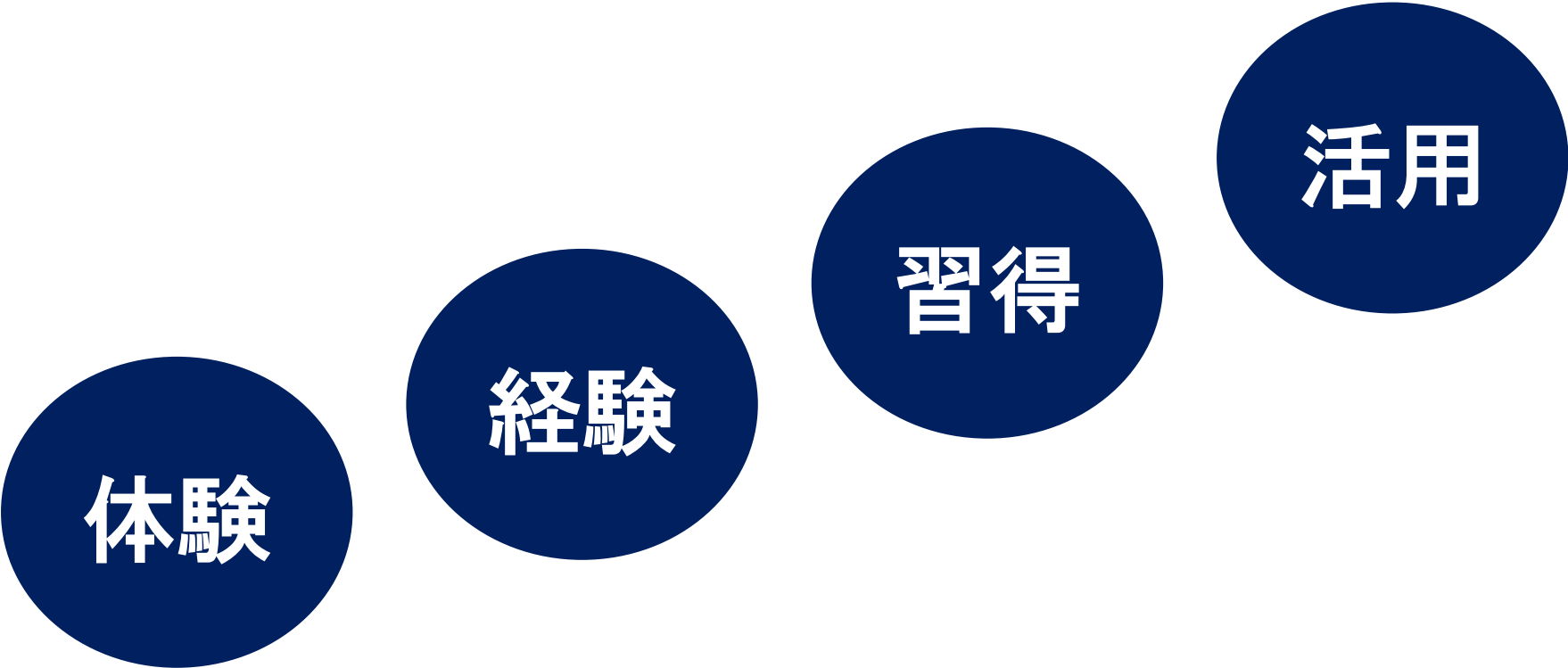
⑪留学で得たこと、成長できた
ことを振り返る状態を創る

⑫帰国後、語学力の維持向上が
できる状態になっている

⑬帰国後、留学経験を踏まえた
専門教育へのステップが
見えている

⑭留学後も同じ留学先の仲間
に加えて、他の学科の学生とも、
学びあうことができる

留学はステップ



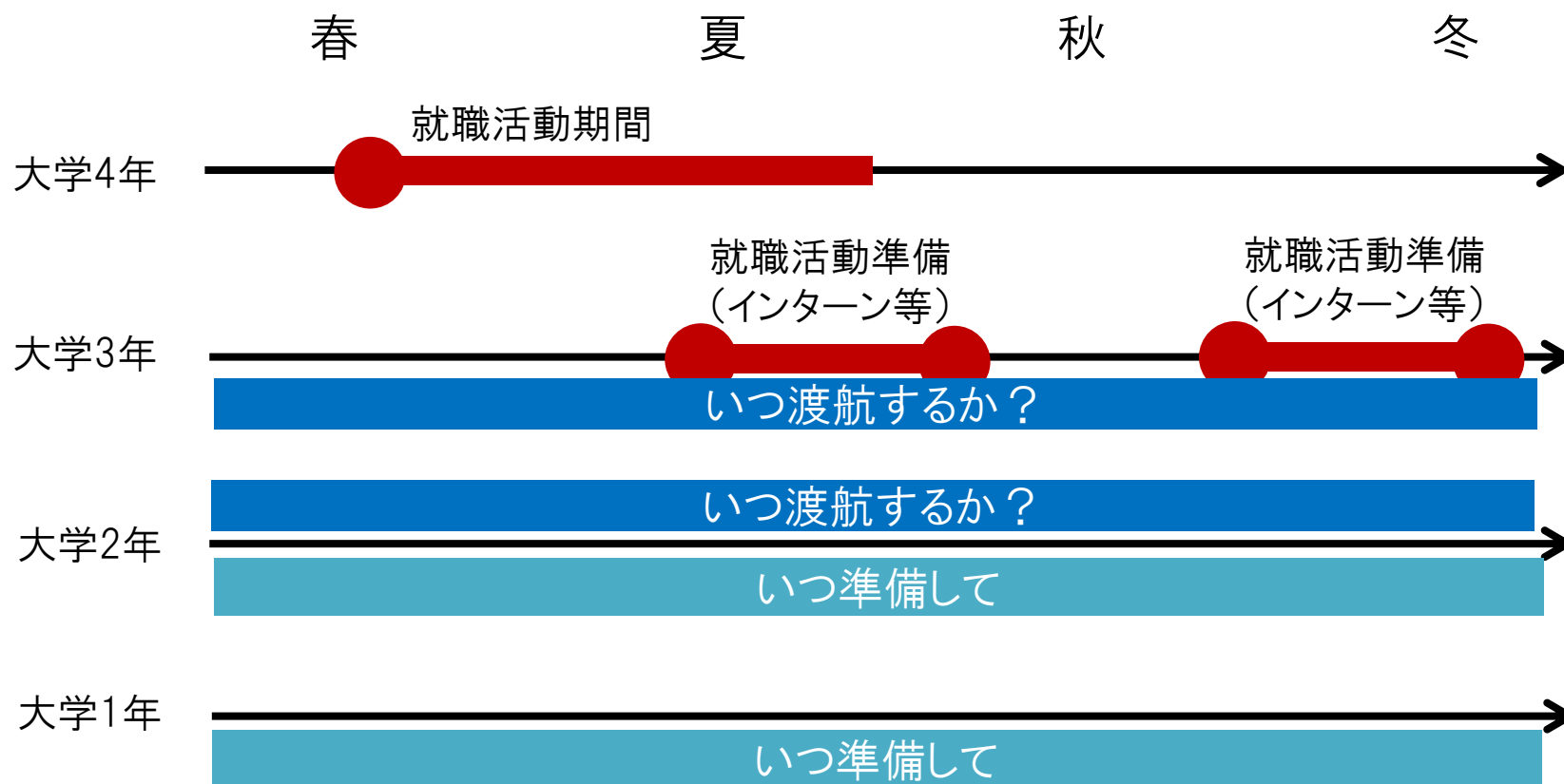
活用

習得

経験

体験

行くことが目的ではなく大学時代どのような留学経験を踏まえて次のステージへ進むか



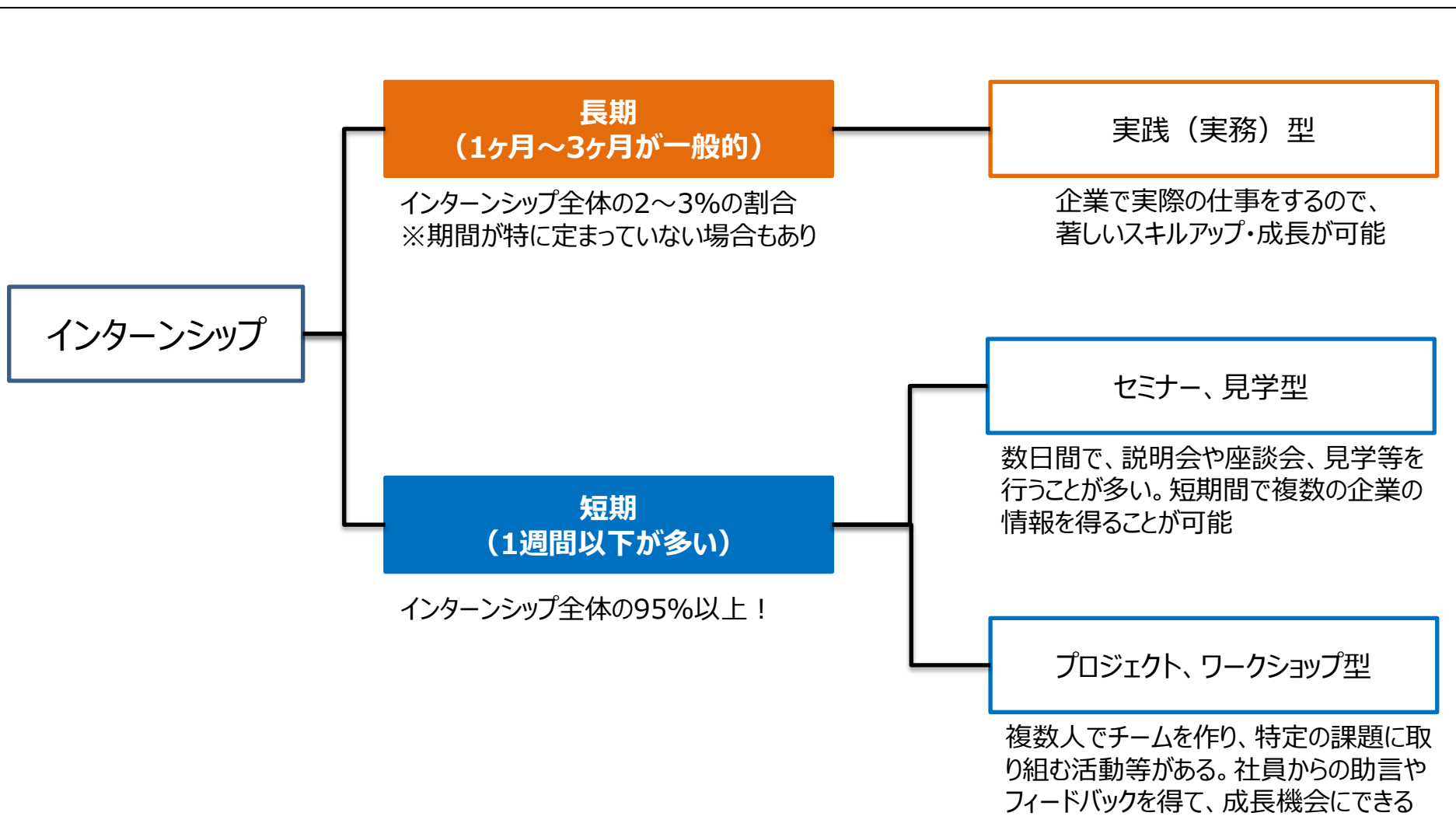
体験

経験

習得

活用

インターンシップは、一般的には下記のように大別できる



①

自社のPR



- ・自社の事業や業績、サービスのことを知ってもらう
- ・利益追求だけでなく理念や成し遂げたいことを伝えることで、オープンなイメージを学生に発信する

②

社会貢献



就業体験の場を提供し、就職活動に先立ち
学生に企業や業界そのもののことを理解する機会を与える

③

就職時のミスマッチ防止



事前に就業体験をすることで、双方の理解を含め
イメージギャップをなくす（早期離職対策、不満の解消）

④

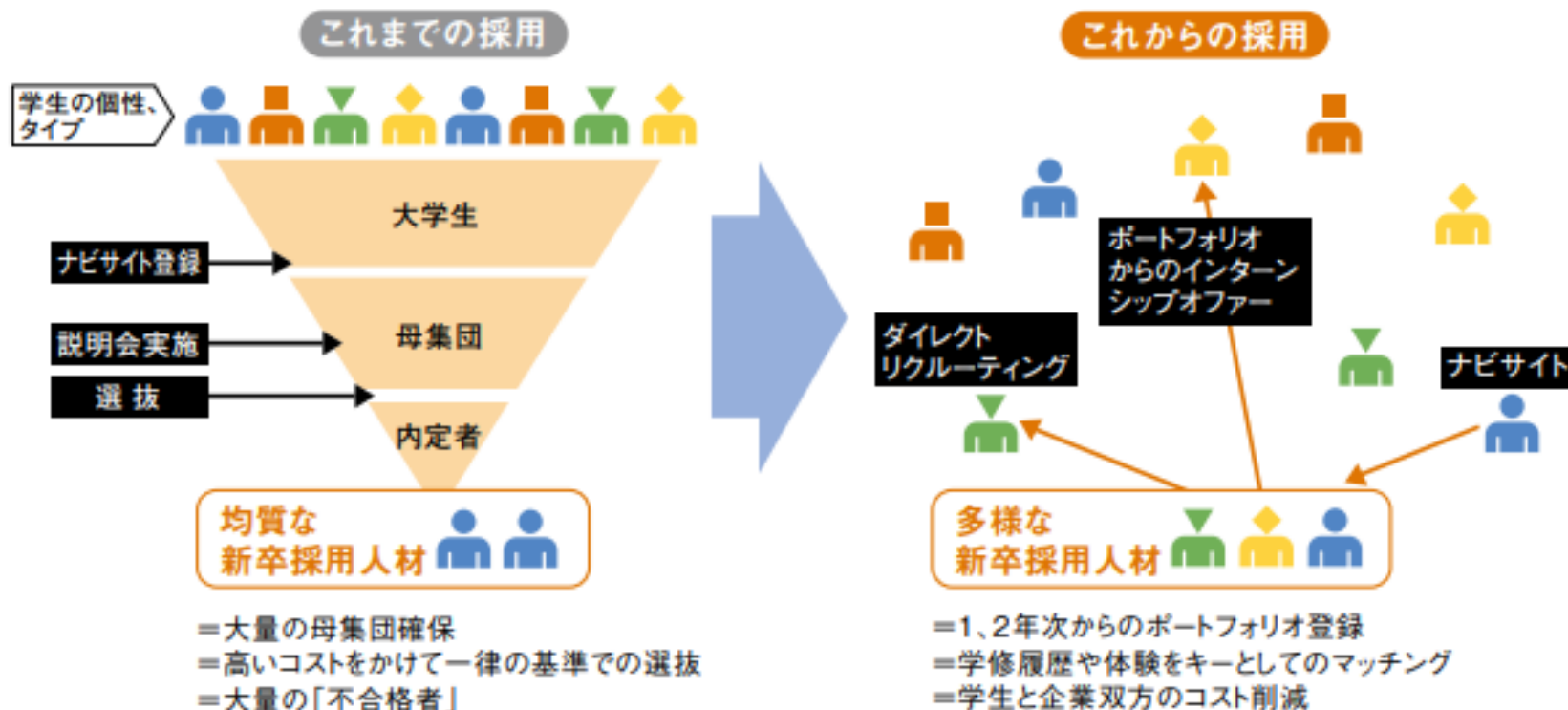
優秀な学生を知る



- ・実際の業務を通して、学生の人柄や考え方を知る
- ・面接では知ることのできない強みがある学生に出会う

就職活動が後ろ倒される（＝学生の選考が短期決戦になる）近年において、
企業にとって、学生を深く知ることができるインターンシップが重要な役割を持っている

ダイレクトリクルーティングなど多様化する採用手法



- **将来の方向性や想い**
- **なぜ留学に行こうと思っているのか？**
- **留学中どのような経験したいか？**
- **帰国後どんな生活を送ろうと考えているか？**

トビタテ!留学JAPAN プログラム

早稲田大学

目次

1. 自己紹介
2. 将来に繋がる留学のための 4 ステップ
3. トビタテで良かったこと
4. 最後に・・・

鈴木友理

学部

国際教養学部4年

留学先

アメリカ ノースカロライナ大学チャペルヒル校

トビタテコース

7期 世界トップレベル大学等コース

留学テーマ

教育社会学留学

実践活動

高校生留学団体ボランティア



将来に繋がる留学のための4ステップ

STEP 1. なぜ留学したいのかを明確にする

STEP 2. ゴール（帰国後になっていたい姿など）を設定する。

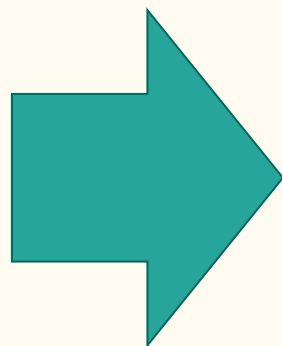
STEP 3. そのために何をすべきなのかを決める

STEP 4. 行動する

STEP 1 なぜ留学したいのかを明確にする

ぼんやりとした理由

- ・言語を話せるようになりたい！
- ・もっと深く勉強したいことがある！
- ・外国で生活してみたい！
- ・とりあえず日本から出たい！
- ・自分の力を試したい！
- ・コミュニケーション能力を上げたい



はっきりとした理由

なぜそれをしたいのか！
そう思ったきっかけを考える

なぜ？と深掘る

私の場合

ぼんやり



はっきり

社会学を学びたいな

教育社会学の授業を取ったから

教育に興味を持っていたから

中国に住んでいたときにみた、
学校に行けていない子供達の姿

POINT:
なぜ？

STEP 2. ゴールを設定する

大きなゴール（将来の夢）

すべての子供達が教育を受けられる社会にする
（具体的に：各国に最適な教育政策を考えること）

小さなゴール（今回の留学で得られること）

社会学の知識を得ること
優秀な人との人脈形成



STEP 3. そのために何をすべきなのかを決める

大学に通って学ぶ

トビタテの特徴：実践活動が必ず必要

→インターンシップ活動、ボランティア活動等

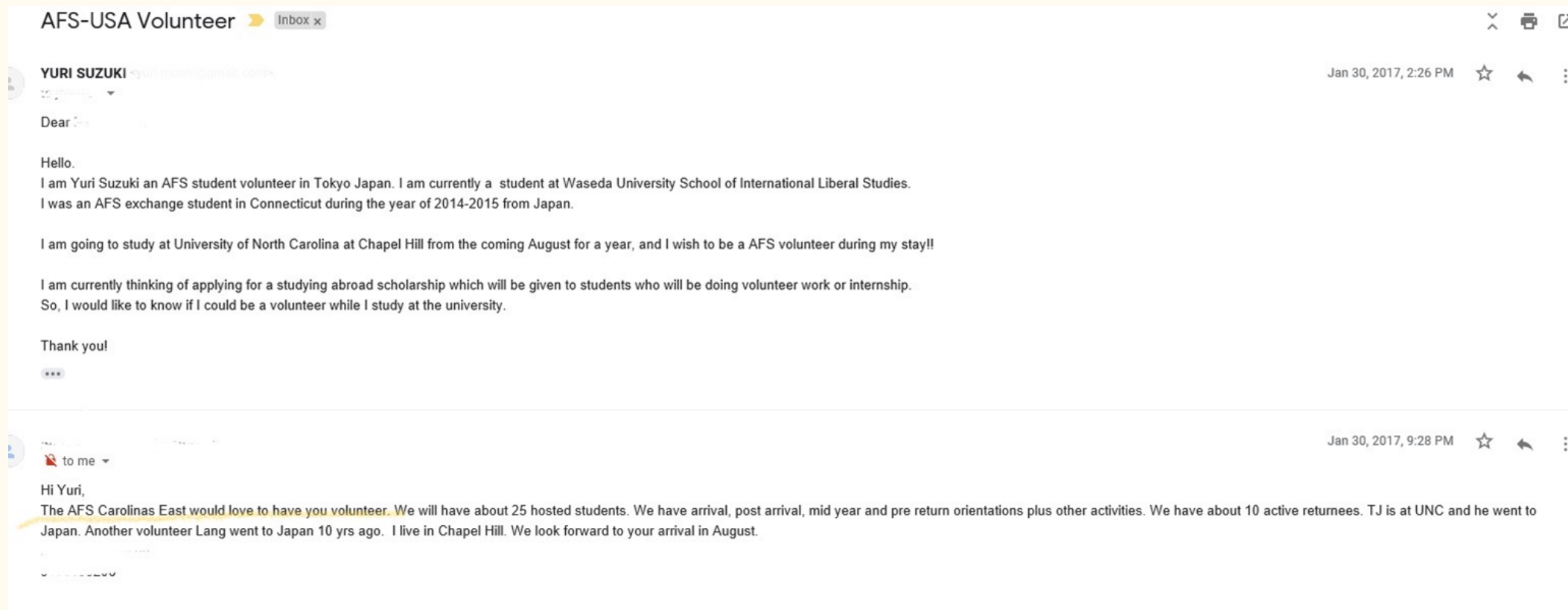
1. 研究室で実験の手伝いをする事
2. 教育機関でのインターンシップ
3. 実際の目で、教育と社会の関わりをみる事 etc...



STEP 4. 行動する

実践活動希望先に直接連絡する

→許可連絡を頂き、書類に添付する。



留学計画は具体的に！

結論

各国に最適な教育政策を考えること

+

過去

中国に住んでいた経験から . . .

+

現在

現在、教育社会学を学んでいる。

+

留学

留学先で行うこと

+

未来

どこに住んでいても教育を受けられるような社会に貢献する



留学計画の立て方まとめ

STEP 1. なぜ留学したいのかを明確にする

STEP 2. ゴール（帰国後になりたい姿など）を設定する。

STEP 3. そのために何をすべきなのかを決める

STEP 4. 行動する

+

今、「大きい夢」を叶えるためにできる事を考える

トビタテで良かったこと

各方面に超優秀な仲間



明確な留学理由 - 言語化されているから自分にとってもわかりやすい
ボランティア活動やインターンシップの準備をしっかりとできる！

